

干潟のことを
博物館や資料館で
調べてみよう!



天然干潟・人工干潟の分布

● 天然干潟 ● 人工干潟

(注)図中の●印は位置を示すもので、規模の大小を現すものではありません。

(資料)「日本の干潟・藻場、サンゴ礁の現状」、「港湾における干潟との共生マニュアル」



水産庁 漁場資源課

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL: 03-3502-8111 (内線7374)

パンフレット作成受託者
社団法人 日本水産資源保護協会

平成17年3月発行

写真提供: 谷津干潟自然観察センター、浦安市郷土博物館、葛西臨海水族園
大田区立郷土博物館、福岡県有明海漁業協同組合連合会
福岡県水産海洋技術センター有明海研究所、佐賀県庁



干潟の周辺には、博物館や資料館が
あります。干潟の生物や漁業について
勉強してみましょう。

博物館・水族館

千葉県

- 浦安市郷土博物館
浦安市猫実1-2-7 047-305-4300
- 国立歴史民俗博物館
佐倉市城内町117 043-486-0123
- 千葉県立安房博物館
館山市館山1564-1 0470-22-8608
- 千葉県立中央博物館分館海の博物館
勝浦市吉尾123 0470-76-1133
- 富津埋立記念館
富津市新井字浜932-34 0439-87-9740
- 谷津干潟自然観察センター
習志野市秋津5-1-1 047-454-8416

東京都

- 大田区立郷土博物館
大田区南馬込5-11-13 03-3777-1070
- 葛西臨海水族園
江戸川区臨海町6-2 03-5696-1331
- しながわ水族館
品川区勝島3-2-1 03-3762-3433

神奈川県

- 新江ノ島水族館
藤沢市片瀬海岸2-19-1 0466-29-9960
- 横須賀市自然人文博物館付属
天神島臨海自然教育園(併設ビジターセンター)
横須賀市佐島3-7-2 0468-56-0717

静岡県

- 東海大学海洋科学博物館
静岡市清水三保2389 0543-34-2385

愛知県

- 名古屋港水族館
名古屋市港区港町1-3 052-654-7080

三重県

- 海の博物館
鳥羽市浦村町大吉1731-68 0599-32-6006

広島県

- 宮島水族館
佐伯郡宮島町10-3 0829-44-2010

福岡県

- マリンワールド海の中道
福岡市東区西手崎18-28 092-603-0400

たいけん かんさつ
体験してみよう! 観察してみよう!

干潟

さて どんなところ?



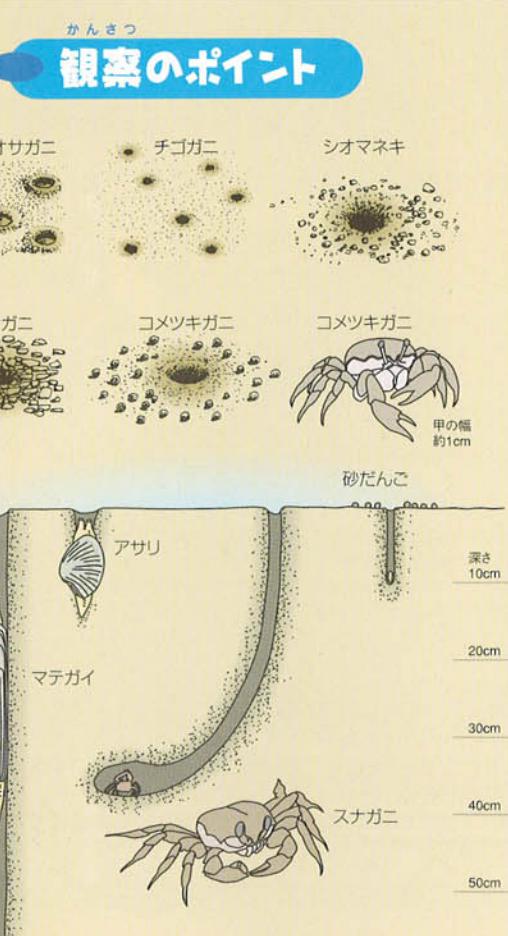
水産庁



干潟には小さな海の生物がいっぱい

海辺の生き物と遊べる干潟

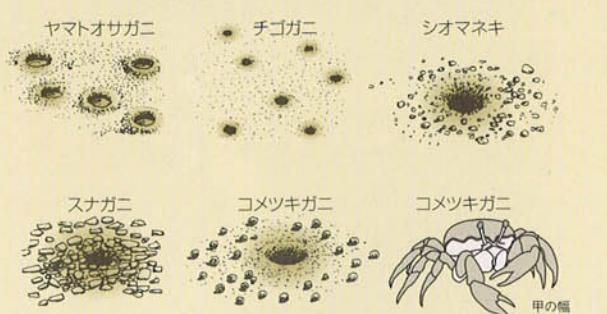
長い間に土や砂が積もって浅い海ができ、潮が引いたときに海の底が見えて干上がる海のことを干潟といいます。干潟ではたくさんのカニや、アサリ、マテガイ等の貝、ゴカイの仲間に出会えます。またムツゴロウやシオマネキなどの貴重な野生生物もいるので観察してみましょう。



ひだた観察のための道具と服装



観察のポイント



観察のポイント

干潟のエサをとりやすいくちばし



- どんな餌を食べているだろう
- どんなところでエサを探しているか見てみよう
干潟の陸に近い場所か、波打ち際か
- 歩き方や頭や首の動かし方など

季節によって観察できる鳥たちが違う

- 夏鳥** ダイサギ、コアザサシ、コチドリなど
- 冬鳥** ユリカモメ、ヒドリガモ、ハマシギなど
- 旅鳥** ダイゼン、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、トウネン、メダイチドリなど
(渡りの途中に立ち寄る鳥)
- 留鳥** コサギ、カルガモ、シロチドリ、カワウなど
(大きな移動をしない鳥)

例えば、千葉県の谷津干潟で見られる水鳥は、年間を通して60~80種類もいます(谷津干潟自然観察センターより)。君は何種類見つけられますか?

渡り鳥と出会える干潟

カニやゴカイ類など小さな生物が豊富な干潟では、四季を通してたくさんの野鳥を観察することができます。夏は子育てる鳥に、冬は越冬する鳥に、春や秋にはシベリアなどの北の国と東南アジアやオーストラリアなどの南の国を行き来する渡り鳥たちに出会えます。



干潟には渡り鳥のご馳走がいっぱい

バードウォッチングしてみよう



もっと調べてみよう。 近くにある博物館や資料館で

干潟の大切さを学習しよう

干潟の伝統的な漁業でかつて使われた道具などが展示されています。昔の人が干潟とどのように関わってきたのか勉強してきましょう。



浦安市郷土博物館

干潟の様子や漁業などに使われる道具や暮らしなどが展示されています。

貝類の採集や海苔養殖のために人々がどのような工夫をしてきたかを、博物館などに展示されている道具からることができます。



ハマガタナ
アサリなどの貝を掘る道具です。



シリゴホリ
イソギンチャクを掘ります。



アサリカキ
潮干狩りで使う熊手です。



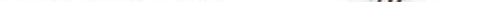
コアカムキ
取ってきたサルボウという貝を剥ぐのに使います。



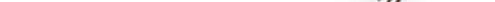
ウナギカキ
ウナギを絡めて捕まえます。
(実際には棒の部分がもっと長いです)



コシマキタブ
貝を掘るのに使う大型の熊手のような漁具です。



ガタ
取ってきたアサリを大きいもの、小さいものに分けて使うのに使いました。ふるうときにガタガタなのでガタ。皆さんも潮干狩りに行ったら小さいアサリは逃がしてあげましょう。



マングワ
貝を掘るのに使います。畑を耕すときに使う「万能(まんのう)」が「マングワ」→「マングワ」と訛ったそうです。

干潟の風物詩

アナジャコ釣り



まず、干潟表面の泥を除き巣穴を見つけます。その巣穴ごとに筆を1本ずつ差し込み、それを外敵と思って追い出しにやってきたアナジャコを筆を引き出しながら入り口付近まで誘い出し、反対の手で電光石火のごくすばやく捕まえます。引きずり出すのにもかけ引きが必要で熟練を要します。

アゲマキ釣り



干潟表面の泥を板ぐわで除いて巣穴を見つけ、針金の先を曲げて作ったアゲマキ釣りという道具を使って釣り上げます。アゲマキをかわして貝の下に引っかけ、穴の入り口まで引き上げます。釣り上げるには熟練が必要です。素人にはなかなか難しく、途中でひつかかって身だけちぎれたりして、うまくいきません。

腰マキ漁



上の写真のような、大型の熊手のような道具を使ってアサリを探しました。写真のように道具につけた縄を腰にかけて曳きました。



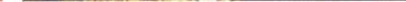
干潟で楽しく体験しよう

干潟の近くにある博物館や資料館などでは、干潟のことをいろいろ研究したり調査をしています。もっと皆さんに干潟のことを知ってもらい干潟の大切さを楽しく理解できるようにと様々な体験イベントや体験学習会を開いています。ぜひお友達や家族を誘って参加してみましょう。



海苔すきにチャレンジ

海苔の生産は現在では機械化がすすんでいますが、海苔すき体験などに参加して昔の人々がどのような工夫をしてきたか勉強してみましょう。



江戸時代の海苔の作り方と道具



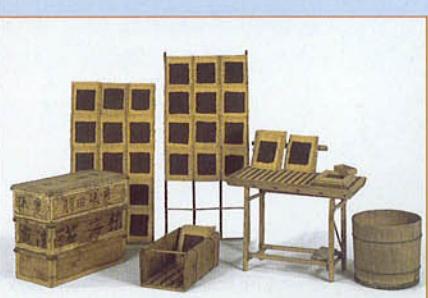
築(ひび)建て
「日本製品図説」明治10年
内務省刊



築(ひび)建て用具 搾り棒・海苔下駄



海苔付け・海苔渴し
「日本製品図説」明治10年
内務省刊



海苔付け・海苔渴しの道具 平箱・海苔渴し枠・海苔渴(す)
運び・海苔付け流し台・海苔付け板・海苔付け重箱

海苔養殖の漁場へ木・竹・網の築を建てる作業を「築建て」あるいは「建て込み」と呼び、木や竹の築を建てた時代には毎年9月中旬にこの作業が始まりました。海底に振り棒を突き立て、その間に足を掛け踏み込み、抜くと同時に築の根元を差し込みます。背の立たぬ水深での作業には海苔下駄を履き、下駄には1尺(約30.3cm)から5尺5寸(約166.6cm)までの幾種類かの高さがありました。

渴し海苔の製造作業を海苔付けと呼び、付け場(作業小屋)に置かれた流し台の上で行われました。流し台の上に海苔を重ね、上に渴し海苔の大きさを決める枠(付け版)を乗せます。その枠の中へ水に溶いた生海苔を升(重箱)で投げ付けるように注ぎ、簞一面に広げます。簞に付いた海苔を乾燥させるのは、元は天日でしたが、第二次大戦後は火力による乾燥小屋が使われました。

もっと役割や大切さを知ろう。

体験学習に参加して

ひがた 干潟のはたらき

うみ せいぶつ く
海や生物、暮らし
に欠かせない干潟

干潟を見て触れて、その働きの重要さを理解しましょう。

淨化作用



海水をきれいにするはたらき

干潟は栄養が豊富でよい漁場になります。ノリ、アサリ、バカガイ、クルマエビ、カニ類、魚類がとれます。さらに、魚類、クルマエビ等の子供が育つ場所としても大切です。

漁業生産



漁場としてのはたらき

干潟は栄養が豊富でよい漁場になります。ノリ、アサリ、バカガイ、クルマエビ、カニ類、魚類がとれます。さらに、魚類、クルマエビ等の子供が育つ場所としても大切です。

来遊・飛来地



渡り鳥の飛来地としてのはたらき

鳥のえさになる様々な生き物がたくさん棲んでいますので、鳥が集まります。

希少生物のすみかとしてのはたらき

鳥以外にも貴重な野生生物の生息地として重要です。

憩いの場



人と海のふれあいの場としてのはたらき

潮干狩り、野鳥の観察などレクリエーションの場として、また子供達の環境教育、情操教育の場としても重要なことです。

ラムサール条約（1971年成立）

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。

イランのカスピ海沿岸の町ラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において作られました。

今まで見てきた干潟をはじめとする湿地は、いろいろな生物を育み、水鳥のすみかとして非常に重要です。しかし、

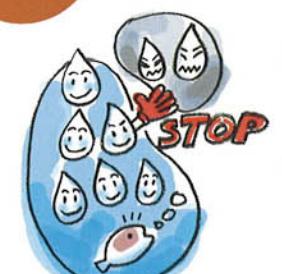
湿地は干拓や埋め立て等の開発の対象になりやすく、その破壊をくい止める必要性があることが広く認められるようになりました。水鳥の多くは国境に関係なく渡りをするところから、国際的な取組が必要です。そこで、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地やそこに生きる動植物を守り、湿地の上手な利用(Wise Use)を進めることを目的として、この条約が作られました。

ひがた 干潟を守る取り組み

ひがた かんきょう
干潟の環境を
守るために

かけがえのない干潟のために、私たちにできることを考えてみましょう。

み 水を大切に使おう



私たちが使った水は海に流れ込みます。一人ひとりが使う水の量はわずかでも、大勢の人が水を大切に使い、汚れを少なくするように心がけたら、海もきれいになってくれるのではないか。シャワーを流しっぱなしにしてませんか？顔を洗うとき洗面器を使ってますか？

ご ゴミを捨てない

見ていないところで捨てたゴミも、川や海へ流れ込み、干潟をはじめとする海の大好きな環境を損なう原因となります。



よ 汚れた水を出さない



流し台の排水口部分や三角コーナーには、目の細かい水切り袋などを付けましょう。使用済みの食用油を流しに捨ててはいけません。洗濯洗剤は、きちんと計量して適量を使うようにしましょう。



くに とく 国の取り組み

国では、色々な事業を行い、上で見てきたような私たちにもできる取り組みを支えています。また、私たちにはできないような取り組みとして、失われた干潟を復元する試みも行われています。



藻場・干潟の造成

失われた藻場や干潟を人工的に作る取り組みが行われています。かけがえの無い干潟を埋立によって失いたくないものです。



漁民の森づくり

豊かな干潟を形作る砂、栄養は山から川によって運ばれてきます。海を豊かにするために、山に豊かな森を作る取り組みが行われています。



清掃活動

捨てられたゴミの回収、不法なゴミ捨ての監視が行われています。市民参加のゴミ拾いイベントも行われていますので、参加してみましょう。環境改善だけでなく、海への関心も高まるはず。